

留学生ワークショップ (関西社会福祉学会 第35回若手研究者・院生情報交換会)

「日本で働く外国人研究者のあり方」

この度、大学の教員・研究所の研究者として、あるいは社会福祉現場のソーシャルワーカーとして日本で働いているOB・OGを招いて、研究に対する姿勢や研究の進め方を学ぶとともに留学生の仲間との交流を深める機会を設けます。是非ご参加ください。

2016年1月16日(土)

時間：14:00～17:00(受付 13:30～)

(終了後、懇親会の開催を予定しています)

場所：同志社大学 新町キャンパス 溪水館1階 会議室

(京都市上京区新町通今出川上ル近衛殿表町 159 - 1)

【プログラム】

14:00～14:05 開会挨拶

関西社会福祉学会理事 日本社会福祉学会副会長 & 国際学術交流促進委員会委員長
黒木保博(同志社大学)

I部. 講演

1. 14:05～14:45 基調講義：「留学生経験をもつ研究者の研究スタイル」

徐琮氏(上海応用技術学院人文学院副教授・同志社大学社会学部客員研究員)

プロフィール：2005年に名古屋大学国際開発研究科学術博士取得。

2005年から2007年、名古屋市立大学非常勤講師。

2007年から上海応用技術学院人文学院、現在に至る。

2. 14:45～15:45 外国人研究者の経験

李善恵氏(同志社大学大学院社会学研究科助手)

黄驥氏(龍谷大学社会学研究科博士後期課程)

李麗氏(社会福祉法人四日市福社会相談員)

15:45～15:55 休憩

II部. 参加者によるグループワーク

15:55～16:55 グループワーク

16:55～17:00 総括 関西社会福祉学会理事 木原活信(同志社大学)

☞参加費：無料

☞参加申し込み：rgks2015@gmail.com (李善恵・郭芳)宛に、①お名前、②ご所属、

③懇親会参加の有無(参加費500円/人)をご記入のうえ、2016年1月13日(水)までにお申込みください。